



## 野村IR資産運用フェア2019



株式会社 **大気社**

東証1部(証券コード:1979)

2019年12月

# 会社概要

会社名	株式会社大気社
代表者	加藤 考二 代表取締役社長執行役員
本社所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
<b>創業</b>	<b>1913年(大正2年)4月10日 (創業106年目)</b>
<b>株式</b>	<b>東証1部上場 (コード:1979 業種:建設)</b>
資本金	64億55百万円
連結年間売上高	2,254億円 (2019年3月期実績)
従業員数	個別1,472名 連結4,829名 (2019年3月末現在)
連結子会社	38社 (国内3社 海外35社)
<b>事業内容</b>	<b><u>ビル空調設備、産業空調設備、自動車用塗装システム</u>における諸設備・装置の設計・施工</b>

# 事業分野①：ビル空調設備



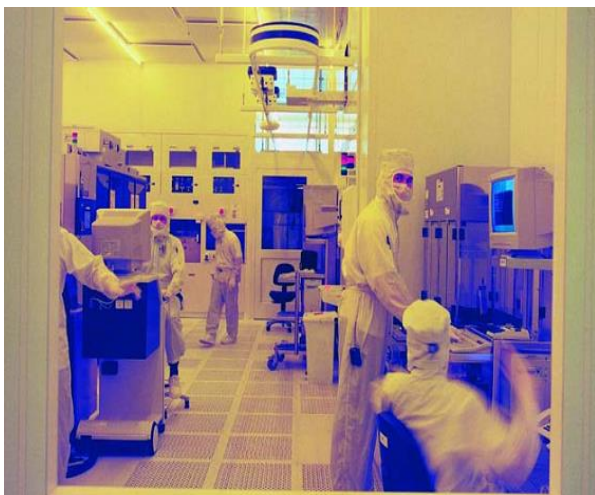
オフィスビルをはじめ、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、さまざまな施設の中で、人が快適に過ごすための空調設備の設計、施工を行う。

## 主要顧客

ゼネコン、不動産会社、ホテル、百貨店、総合スーパー、病院、学校、鉄道会社、官公庁 など

都心の再開発計画など、建設需要は底堅く推移

## 事業分野②：産業空調設備



電子部品、医薬品など、製造過程で高い清浄環境が求められる生産工場や研究施設を対象にクリーンルームなど“モノづくり”にとって最適な空調設備の設計、施工を行う。また排気処理装置などの環境保護装置の開発にも注力。

### 主要顧客

電子部品メーカー、製薬メーカー など

電子部品メーカーや製薬メーカーにおいて、積極的な設備投資

## 事業分野③：塗装システム



国内自動車メーカー、米国、中国、インド、欧州などの自動車メーカーの**大型塗装工場**の設計・施工を手がける。

省エネルギーや環境対応に関する高い技術を有する大気社は、売上高において**国内第1位、世界第2位**を誇る。

### 主要顧客

日系および各国の自動車メーカー など

自動車メーカーにおいて、北米・欧州・日本などで設備更新や建て替え投資、中国・インドなどで増産投資

# 当社の特長

- 高度な技術力による競争優位性
- 強力なグローバルネットワーク
- 売上高国内第1位、世界第2位の自動車塗装
- 市場環境の変化に対する高い柔軟性

# 高度な技術力による競争優位性

完成工事高の内訳

2019年3月期実績 2,254億円の内訳

ビル空調	産業空調	塗装システム
461億円 <u>20.5%</u>	1,030億円 <u>45.7%</u>	762億円 <u>33.8%</u>

高度な技術力を要し、参入障壁が高い  
産業空調・塗装システム分野の割合が多い

# 強力なグローバルネットワーク

現地に拠点を有することによる充実した顧客サポート体制と、現地化の推進によるコスト競争力が強み

- 18カ国に35の海外連結子会社
- 2019年3月期の海外売上比率は**47.1%**

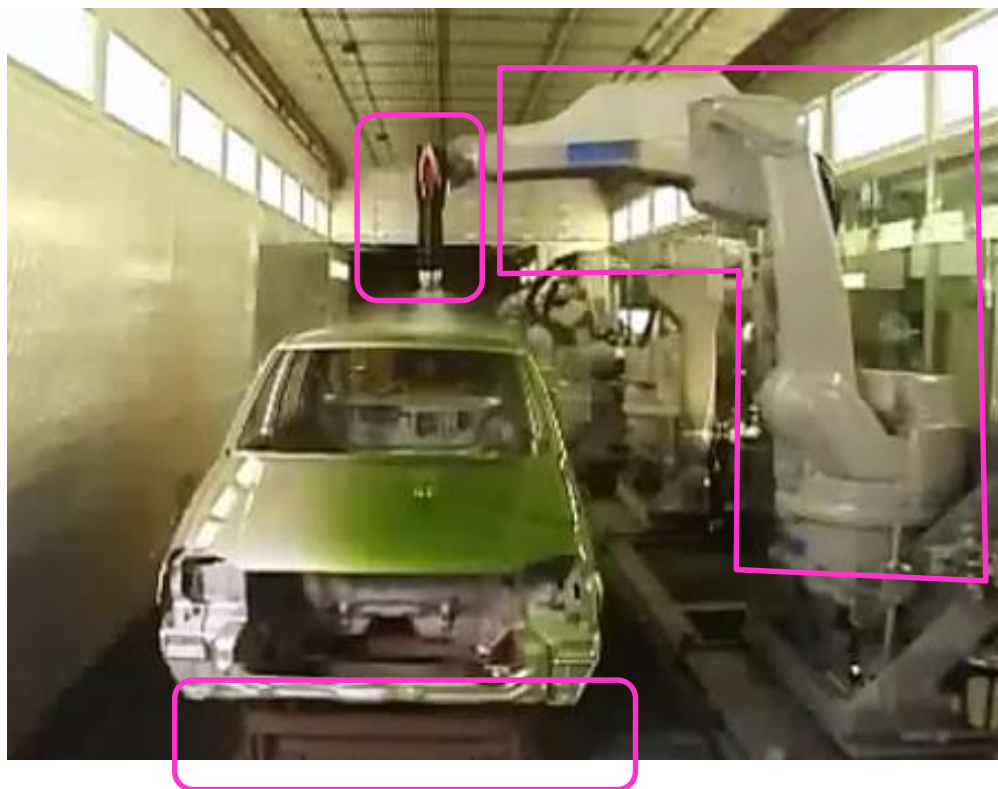




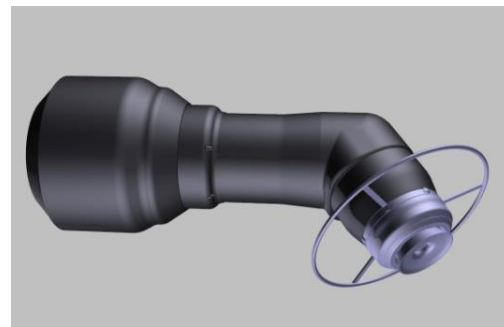
# 売上高国内第1位、世界第2位の自動車塗装

## 自動車塗装工場の一括受注が可能

### ■ 塗装ロボット



### ■ 塗装機



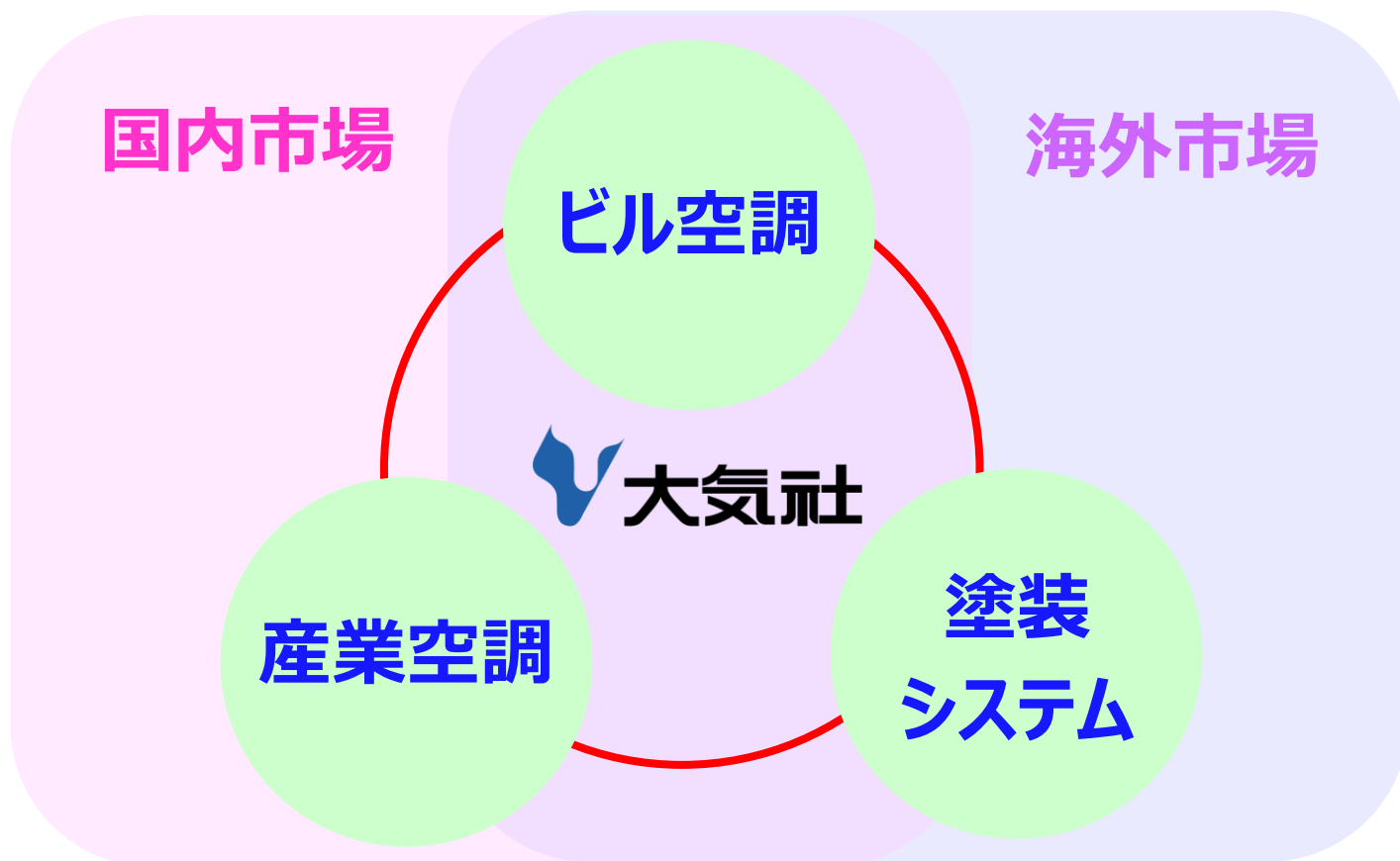
### ■ コンベア



**トータルエンジニアリング会社としての優位性を持つ**

# 市場環境の変化に対する高い柔軟性

市場環境の変化に対する高い柔軟性  
上場以来経常赤字なし



# 事業領域の拡大①：完全人工光型植物工場



産業空調で培った空調技術を生かし、栽培エリア内の温度ムラを解消することで、均一な品質の野菜を栽培することができる。

## 市場ニーズのポイント

**コンビニ向けなどの業務用におけるニーズの高まり**

**収穫量と製品価格の安定の確保**

**食の安全・安心**

**食品ロス削減**

**当社の植物工場はこれらのニーズにマッチ**

# 事業領域の拡大②：自動車以外の自動システム



自動車で培った技術・ノウハウをもとに、今後の市場拡大が期待できる航空機・鉄道車両などの分野でも、塗装及び研磨の自動化システムの開発に取り組む。

## 市場ニーズのポイント

航空機・鉄道車両共、数年毎に塗装を剥がし整備後再塗装する必要があるが、これらの作業は現在**手作業**で行われている。



熟練技術者の減少や労働安全衛生の改善、生産性の向上などへの対応ニーズ

航空機の**運航機数増加**

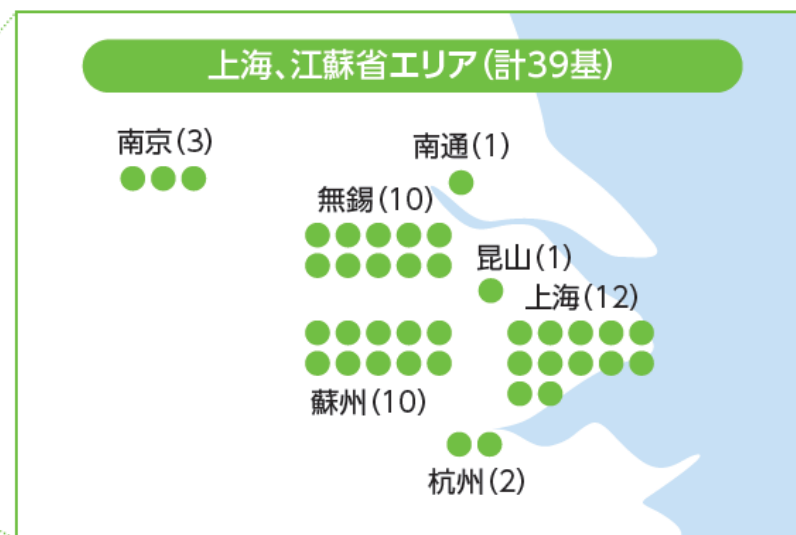
中国の**鉄道運営距離延伸に伴う車両数の増加**

# 事業を通じた環境貢献①

## 排気処理装置で環境負荷低減に貢献

中国では環境規制が厳しくなっており、揮発性有機化合物（VOC）などの有害な排気を処理する装置の需要が高まっている。

### ● 中国における施工実績

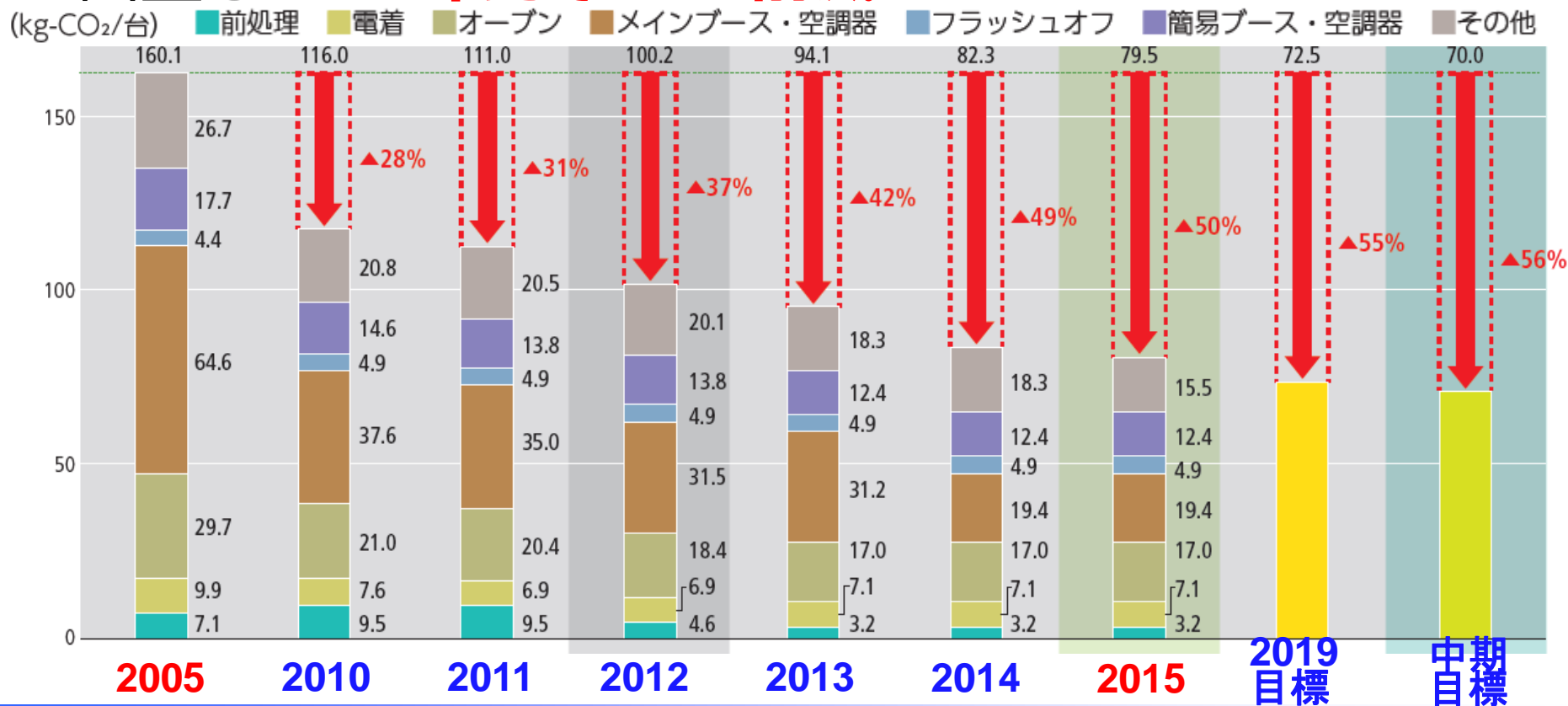


今後は世界的な環境規制強化の流れの中で、中国以外の地域でも需要の拡大が期待される。

# 事業を通じた環境貢献②

## 自動車の塗装工場におけるCO2排出量の削減

自動車生産台数1台あたりの塗装工程におけるCO2排出量を**2005年比で50%削減**



## 事業を通じた環境貢献③

### SNAMサステナビリティ・インデックスの構成銘柄に選定

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント（SNAM）が2012年8月から運用を開始している「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に2年連続で選定



Member of SNAM  
Sustainability Index  
2019

#### 「SNAMサステナブル運用」とは？

ESG（環境、社会、ガバナンス）の評価が高い企業に幅広く投資する、年金基金・機関投資家向けの運用プロダクト。一般的なアクティブ運用とは異なり、調査会社によるESG評価を重視して投資銘柄を選定したうえで、独自のインデックスに基づいて保有ウェイトを決める運用手法。

**今後も持続可能な社会の実現への貢献を目指す**

# 業績・市場環境の見通し

単位：億円

	2019.3実績	2020.3予想	2022.3中計目標
受注工事高	2,418	2,398	2,650
完成工事高	2,254	2,390	2,600
経常利益	150	153	160
(同率)	6.7%	6.4%	6.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	88	97	100
ROE	8.3%	—	8%以上

**ビル空調**：国内におけるオフィスビル需要は再開発案件、および旧耐震基準や旧式化したビルの建て替え需要など、底堅く推移する見込み。

**産業空調国内**：電子部品メーカーによる、5G（第5世代移動通信システム）などの今後の成長が期待される分野に対する新規投資が継続する見込み。

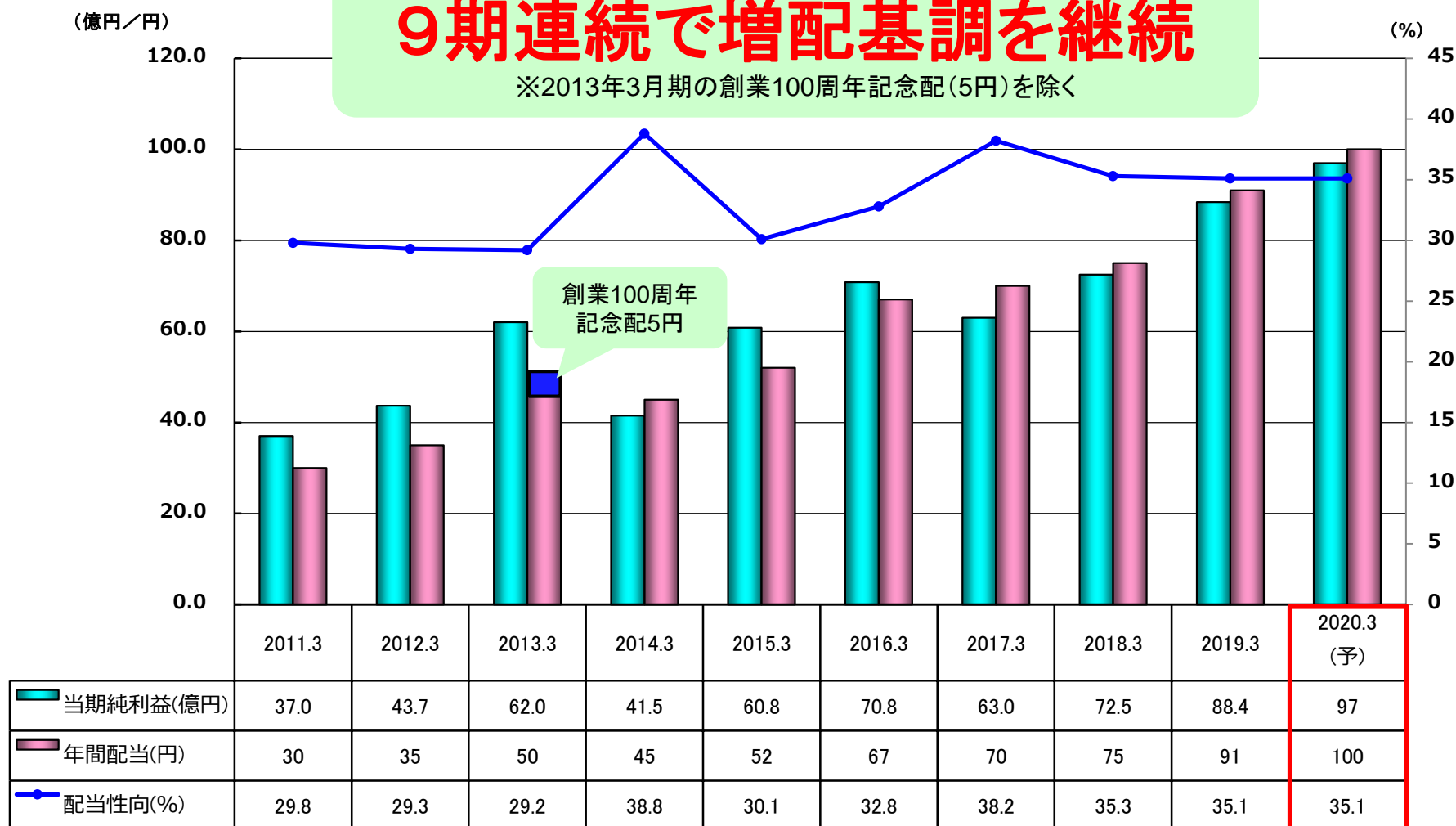
**産業空調海外**：日系メーカーによる設備投資回復の見通しについては引き続き不透明感があるものの、需要は底堅く推移する見込み。

**塗装システム**：自動車向けでは北米・欧州・日本などで設備更新や建替え投資、中国・インドなどで増産投資が継続する見込み。



# 株主還元：配当

**9期連続で増配基調を継続**  
 ※2013年3月期の創業100周年記念配(5円)を除く



**連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施**